

避難は普段からの備えが重要！

6月から10月は梅雨前線や台風の影響により降水量が多く、大雨・洪水・暴風・高潮などによる災害が発生しやすい時期です。近年では予期せぬ集中豪雨が相次ぎ、全国で甚大な被害をもたらしています。いざという時に素早く避難するためには、普段からの備えが重要です。次のことを参考に、準備をしておきましょう。

ハザードマップを使って
災害危険箇所や
指定避難場所の事前確認！

自分の住んでいる地域の土砂災害や河川氾濫の危険箇所を、総合防災マップやハザードマップで確認しましょう。安全な避難のためには、指定緊急避難場所や指定避難所、避難経路を事前に確認しておくことが重要です。



危機管理課や各支所で配布しているほか、市ホームページからも確認できます。



▲ハザードマップはこちらから

緊急時の連絡先や非常時持ち出し品を再確認！

災害発生時、家族が離れた場所においても慌てず行動できるよう緊急時の連絡先を共有しておきましょう。非常時持ち出し品は、優先順位を決めてリュックなどに入れ、すぐ持ち出せる場所に用意しておきましょう。

非常時持ち出し品チェックリスト

- 必需品** 印鑑 現金 通帳のコピー 健康保険証
- 食品** 飲料水 缶詰 長期保存食
- 衣類・布物** 下着・衣類 手袋・軍手 タオル
- 衛生用品** ティッシュ 生理用品 ごみ袋 歯磨きセット マスク
- 電化製品** ラジオ 携帯電話 電池 充電器
- その他** スリッパ めがね 薬・お薬手帳 懐中電灯 缶切り・ナイフ ヘルメット など

沿岸部では高潮に注意！

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海岸部の海面が上昇する現象です。高潮が発生すると海水が堤防を越え、道路や家屋が浸水する可能性があります。特に満潮時と重なると海面が異常に高くなり危険な状態になります。

高潮ハザードマップを作成しました！

県が浸水想定区域を見直したことを受け、今年3月に新たな浸水想定区域で「高潮ハザードマップ」を作成しました。総合防災マップ（令和2年4月発行）から、高潮浸水想定区域が変更されていますのでご注意ください。

高潮ハザードマップは5種類

- 三野町・詫間町高瀬川沿川地区
- 詫間町松崎・詫間・三野町沿岸地区
- 詫間町大浜・積・箱・生里地区
- 詫間町栗島・志々島地区
- 仁尾町地区

該当区域の世帯には、3月に郵送で送付しています。

自主防災組織や自治会に対するハザードマップの説明希望や、防災訓練に関する相談がありましたら、危機管理課までお問い合わせください。

ハザードマップの設置場所

危機管理課や各支所で配布しているほか、市ホームページに掲載していますのでご確認ください。



「早期立退き避難検討地域」の区域設定
50cm以上の浸水継続時間が6時間以上かつ、浸水深が3m以上の地域では、備蓄食料の不足や家屋倒壊の危険性があるため、早期に立退き避難を検討する区域として設定しています。

多様な言語に対応
英語、中国語、インドネシア語、ベトナム語、ミャンマー語版を作成しています。多言語版は市ホームページに掲載していますので、ご利用ください。

避難時の心得や避難行動判定フローなども掲載していますので、ご活用ください。



▲危機管理課 丹羽さん

気象情報や河川情報の収集を！

水害時に避難するためには、次のことを把握することが重要です。河川の水位や雨量の情報、注意報・警報、土砂災害警戒情報、警戒レベル など、気象庁や県などのホームページを活用しましょう。



事前準備をして 風水害に備えましょう！

▶問い合わせ 危機管理課 ☎73-3119